



①土橋町の幌獅子 ②柿岡館の獅子 ③つくば市小田の大獅子
④つくば市北条の三角神輿 ⑤露祓を務める土橋町と仲之内の幌獅子
⑥總社宮に参拝する宮下町の幌獅子 ⑦石岡獅子舞連合会の合同練習会

ふるさと歴史館
第46回企画展

幌獅子

成立過程を探る



令和8年

10月7日

▶12月27日

月曜休館（祝祭日のときはその翌日）

午前10時～午後4時30分

入館無料

展示解説

10月10日（土）午前10時30分～



石岡市立ふるさと歴史館

茨城県石岡市総社 1-2-10 石岡小学校敷地内

電話 0299-23-2398

「常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）」を彩る出し物に「幌獅子^{ほろ}」があります。幌を被せた車輪付きの小屋に囃子方をのせ、小屋の前に立つ若者が大きな獅子頭を揉みながら歩く、石岡独特の出し物です。「石岡のおまつり」の代名詞であり、シンボルとも言えます。

約 25kg もの重さになる獅子頭を、若者たちが代わる代わる揉み、幌の端をもった人々がそれに合わせて上下にあおることで、ダイナミックな獅子舞が演じられます。小屋には大太鼓と締め太鼓が据えられ、子どもたちが乗り込みます。

土橋町と仲之内の幌獅子は神輿渡御の露祓を務め、行列を先導しながら道中の魑魅魍魎を祓い清めます。そのほかの町内は神輿に付き随い、幌獅子の総数は最大で33台にもなります。躍動感のある獅子が延々と続く行列は、「石岡のおまつり」の大きな見所です。

では、その石岡独特の出し物はどのようにして生まれたのでしょうか。今回は幌獅子の「形態」と「芸態」に着目し、成立過程を探ります。

展示解説

10月10日（土）

10時30分～

担当職員が展示の見どころを説明します（30分程度）。申し込み不要。直接ふるさと歴史館にお集まりください。



▲明治41年の土橋町と仲之内の幌獅子（土橋獅子舞保存会 1989『常陸総社宮例大祭と獅子』より）



石岡市立ふるさと歴史館

開館時間 午前10時～午後4時30分

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

交通 JR常磐線石岡駅西口より徒歩約12分

駐車場あり

住所 茨城県石岡市総社1-2-10 石岡小学校敷地内

電話 0299-23-2398

